

新連載

広報ってなあ～に？

文：廣瀬千賀子
Chikako Hirose
(Office HIROCE 代表)

第1回 広報のお仕事♥広報ってなに？

みなさん、こんにちは。これから広報のお仕事についてこのページを担当することになった、ハイボールをこよなく愛し、昭和歌謡のカラーオケ好き、宝塚歌劇のベルサイユのバラ2曲歌えるのが自慢の、ベタな大阪人、キャサリンちか子です。

さて、大企業では当然の如く確立されている広報部や広報担当者ですが、中小企業では、「広報なんか、まだ必要がないよー」と思われているかもしれないですね。でも、広報知識があるだけで、会社（またはお店）にとって、プラスになることが意外にあります。そこで、色々な場面で使える広報のお仕事についてご紹介していきます。

危機管理もします！

そもそも、広報ってなにをするの？と思っている方は多いでしょう。「自社と社会を繋ぐ対外的な窓口として、自社の商品、会社の名前、そしてさまざまな活動情報を正しく社会に伝達し、会社のブランドイメージを上げる」お客様やメディアに向けた情報発信が役割です。

新聞やテレビで「...と、広報担当者は話した」と目にするところがあると思います。窓口なので、会社全体の話をする時などは、インタビュアーに答えるのですが、（これは、稀で通

常は黒子です）、実は、カッコいいイメージだけでなく、危機管理広報といわれる業務もとても大切な広報の仕事になります。私は、広報担当者の業務として、この危機管理広報が一番重要だと思っています。「食」に携わっていると、ノロなどの食中毒、店内での突発的な事故、最近では、SNSでの書き込みなど、何か起こった時（特に悪い事態）のメディア対応が大切なことです。こちらには、また詳しく書くことにします。

広報とPRって何が違うの？

広報ってPRと同じでしょうか？とよく言われます。広報は、基本的に、自社の情報をメディアに発信して、テレビや新聞、雑誌などがパブリシティとして、ニュースや記事として取り上げてくれるようにします。いい話だけでなく、悪い状況に対しても窓口としてメディアに対応します。

PRは、メディアに「こんな商品やサービスがありますよ！」と自らアピール、宣伝することです（お金を支払い、広告枠を買い取ることもある）。広報とPRでは、メディアの担当者が違ってくるので、話す内容も変わってきます。

いままで書いた広報は、「社外広報」といわれるもので、文字通り社

外へ情報を発信しますが、新入社員情報、イベントスケジュール、社内報、CSRなどの活動の周知等、社内の情報を従業員に知らせる「社内広報」も広報の仕事となります。

社内の情報をキャッチすべく、ノミニケーション（飲み&コミュニケーション）をほぼ毎晩？ 他部署の人と行ない、色々な情報をもらう。酔えば、本音も聞けるし、仲良くなつて、今後社内のお仕事も円滑にいきますねん。もちろん、メディアの皆さん、他社の広報担当者や情報交換会と称したノミニケーションも全て大切な（↑私が勝手に思ってる）広報のお仕事なんですよ。



廣瀬千賀子 / 「広報のお手伝い」[広報の育成]を行うOffice HIROSEの代表。大阪出身のパワフルな性格と、大手外食チェーンをはじめ、NEXCO西日本SHDなど様々な企業で培った叩き上げの広報スキルが身上。外食業界では誰もが知る名物広報で、なぜか「キャサリン」の愛称でも親しまれている。写真はカラオケルーム（宝塚歌劇ルーム）で熱唱中に撮影。